

戸塚区連合町内会自治会連絡会5月定例会 議 題 説 明 書

総務局地域防災課

議題名：地域防災活動支援に向けた研修等のご案内

【内容】

①令和3年 防災・減災推進研修＜基礎編＞

概要：地域の防災活動を進めるうえで参考となる知識を学んでいただく研修です。コロナ対策を実施したうえで開催します。積極的な受講をよろしくお願いいたします。

申込方法：「防災・減災推進研修＜基礎編＞」推薦書(別紙1)を受託者へ提出

申込期限：令和3年6月10日(木)必着

その他：詳細は「令和3年 防災・減災推進研修＜基礎編＞のご案内」をご確認ください。

②令和3年 防災・減災推進研修＜支援編＞

概要：地震火災や風水害の備えなど地域特性に応じた防災活動について、アドバイザーを派遣して支援する研修です。コロナ対策を実施したうえで開催します。積極的な受講をよろしくお願いいたします。

申込方法：「防災・減災推進研修＜支援編＞申請書」(別紙)を総務局地域防災課へ提出

申込期限：令和3年6月10日(木)必着

その他：詳細は「令和3年 防災・減災推進研修＜支援編＞のご案内」をご確認ください。

③コロナ禍でも自宅で防災について学べる「防災学習コンテンツ」(無料ウェブサイト)を作成しました。災害への備えを進めるためにぜひご活用ください。

【例年あげている議題か？】

①は例年ご案内しており、前回は平成31年4月区連会でお願いしました。②、③は初めての議題です。

【何をすればいいのか？】【いつから(いつまでに)すればいいのか？】

各自治会町内会1部ずつ資料を配布いたしますので、ご承知おきください。

①及び②については、受講をぜひご検討ください。③については自治会町内会の皆様へご案内ください。

【その他、注意することなど】

研修の実施にあたっては、研修施設の消毒、換気、受講者の間隔の確保を保って実施します。また、受講者につきましては、マスクの着用、受付での消毒、体温測定にご協力をお願いします。なお、受講日に緊急事態宣言が発出されている場合には中止とします。

問合せ先

担当部署 総務局地域防災課

担当者名 時枝、橋本

TEL. 671-3456 FAX. 641-1677

令和3年 防災・減災推進研修〈基礎編〉のご案内

地域の防災活動を進めるうえで参考となる知識を学んでいただく研修です。コロナ対策を実施したうえで開催します。積極的な受講をよろしくお願いいたします。

1 研修対象者

「町の防災組織」のメンバーの方（研修の成果を「町の防災組織」の活動につなげていただくため、お手数ですが、代表者の方からご推薦をお願いします。）

※推薦は任意です。

※各組織から**2名**まで推薦可能です。

※家庭防災員や防災ライセンス講習会を、受講された方も推薦可能です。

【受講者の声】

☺ こちらの研修を受けて防災に興味をもち、今では防災マニアになりました。



2 研修内容（集合）

（1）「防災・減災推進研修〈基礎編〉」研修カリキュラム

9:30 ～ 11:00	【講義】 「 横浜市 の防災対策について知ろう」 【事例紹介】 「 地域 の事例を学ぼう」	○市の防災対策や自助・共助について学びます。 ○地域で実施している先進的な防災活動の事例を紹介します。
11:00 ～ 12:30	【グループワーク】 「 地域 の特性を踏まえた事前の備えを考えよう」	○発災後、経過時間ごとに、地域で何をすべきか等、議論します。

※開催日時によって一部カリキュラムの順番が異なります。

（2）開催日時

【時間】9：30～12：30

日程	場所	定員
6月25日（金）	防災センター（横浜駅）	30名
6月26日（土）	防災センター（横浜駅）	30名
6月29日（火）	防災センター（横浜駅）	30名
6月30日（水）	防災センター（横浜駅）	30名
7月3日（土）	栄区役所（本郷台駅）	30名
7月10日（土）	旭区役所（鶴ヶ峰駅）	40名
7月13日（火）	中区役所（関内駅）	40名
7月14日（水）	中区役所（関内駅）	40名
7月16日（金）	中区役所（関内駅）	40名
7月17日（土）	青葉区役所（市が尾駅）	40名
7月31日（土）	金沢区役所（金沢文庫駅）	40名

3 申し込み方法

「防災・減災推進研修<基礎編>」推薦書に、必要事項をご記入のうえ、郵送、FAXまたは電子メールにて、6月10日(木)まで(必着)に、以下の宛先にお申し込みください。

申し込みの受付や受講者決定通知の送付等は、公益社団法人横浜市防火防災協会に委託しています。

●「防災・減災推進研修<基礎編>」推薦書(別紙1)

【宛先】公益社団法人横浜市防火防災協会

○郵送：〒232-0064 横浜市南区別所1-15-1

○FAX：045-714-0921

○電子メール：consulting@ydp.or.jp

4 受講者の決定

6月中旬に、受講決定の通知を、受講者あてにお送りいたします。

※希望者が、定員を超えた場合、「各区の受講者数のバランスや過年度の受講状況」などを考慮し、受講者を決定させていただきますのでご了承願います。

5 新型コロナウイルス感染症への対策について ※詳細なコロナ対策は別添のとおり

研修の実施にあたっては、研修施設の消毒、換気、受講者の間隔を確保して実施します。

また、受講者につきましては、マスクの着用、受付での消毒、検温にご協力をお願いします。

なお、受講日に緊急事態宣言が発出されている場合には中止とします。

6 自宅学習編

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、自宅学習用の動画をすべて閲覧したうえで、「修了証発行申請書」をご提出していただいた場合には、「防災・減災推進研修<基礎編>」を受講したものとします。

修了証発行を希望される場合には「修了証発行申請書」(別紙2)を総務局地域防災課まで送付していただきますようお願いいたします。

7 お問い合わせ

研修の申し込み方法等について (申し込みの受付業務を以下に委託しています)

担当 公益社団法人横浜市防火防災協会

電話：045-714-0929

研修の内容や自宅学習編の申し込み方法等について

担当 横浜市総務局地域防災課 (時枝、橋本)

電話：045-671-3456

8 その他

※当日午前8時の時点で「警報」または「特別警報」が横浜市域に発令されている場合は中止とします。

また、それ以外の場合でも悪天候等の理由により中止することがあります。

その場合には、横浜市コールセンターまで御連絡下さい。

<横浜市コールセンター>045-664-2525(平日・土日祝日いずれも 8:00~21:00)

年 月 日

公益社団法人横浜市防火防災協会 行

自治会・町内会等団体名 _____

代表者名 _____

住 所 _____

電 話 _____

「防災・減災推進研修〈基礎編〉」推薦書

令和3年の「防災・減災推進研修〈基礎編〉」受講者として、次の方を推薦します。

しめい 氏名	住所	電話番号
	〒	
	〒	

- ・各組織から2名まで推薦することができます。
- ・氏名は楷書で、ふりがなを付け、住所は棟室番号までご記入ください。
- ・**6月10日（木）まで（必着）**にご送付ください。

【受講希望日】受講可能日（太枠）に○をつけてください。

※ 日程調整の都合上、できる限り多くの希望日をご記入お願いします。

実施日	【第1回】 6月25日（金）	【第2回】 6月26日（土）	【第3回】 6月29日（火）	【第4回】 6月30日（水）
場所	防災センター	防災センター	防災センター	防災センター
受講可能日				
実施日	【第5回】 7月3日（土）	【第6回】 7月10日（土）	【第7回】 7月13日（火）	【第8回】 7月14日（水）
場所	栄区役所	旭区役所	中区役所	中区役所
受講可能日				
実施日	【第9回】 7月16日（金）	【第10回】 7月17日（土）	【第11回】 7月31日（土）	
場所	中区役所	青葉区役所	金沢区役所	
受講可能日				

（お住まいの地域の類型）あてはまる類型に○をしてください。

<input type="checkbox"/>	① 戸建て中心
<input type="checkbox"/>	② マンション等の集合住宅中心
<input type="checkbox"/>	③ 戸建てと集合住宅が半々混在

※グループワークの際に、グループ分けするために使用させていただきます。

研修の申込みにあたり収集する氏名、電話番号、住所の個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い、適正に管理し、決定通知の送付、研修の中止等、事務局から連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

【宛先】公益社団法人横浜市防火防災協会

○郵送：〒232-0064 横浜市南区別所1-15-1

○FAX：045-714-0921

○電子メール：consulting@ydp.or.jp

令和3年 月 日

総務局地域防災課 行

自治会・町内会等団体名 _____

代表者名 _____

住 所 _____

電 話 _____

「防災・減災推進研修〈基礎編〉」修了証発行申請書

次の方は指定された防災動画を閲覧しました。「防災・減災推進研修〈基礎編〉」の修了証の発行を申請します。

しめい 氏名	住所	電話番号
	〒	

動画名（収録時間）	閲覧完了
防災よこはま（約24分）	
新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時の避難（約5分）	
風水害への備え：マイ・タイムラインの作成（約17分）	
地震への備え：家具転倒防止・感震ブレーカー（約8分）	
町の防災組織の取組（約17分）	
マンションの防災対策について（約14分）	

※すべての動画を閲覧していただくことが修了証発行の条件となります。

※それぞれの動画について、閲覧完了欄にチェックをお願いします。

閲覧した動画に
チェック(✓)

【動画の案内】

ウェブサイトURL

<https://cgi.city.yokohama.lg.jp/somu/chiikibousai>

横浜市 防災学習コンテンツ

検索

QRコード



※学習コンテンツ内の動画より閲覧をお願いします。

※各自治会・町内会にDVDも配布しています。

【備考】

修了証には、【防災よこはま】及び【ヨコハマの「減災」アイデア集】等、地域防災活動を推進していただくうえで、参考となる資料を同封いたします。

申請書送付先・問い合わせ先

※申請書はメール、FAX、郵送いずれかで送付してください。

総務局地域防災課（時枝・橋本）

TEL：045-671-3456 FAX：045-641-1677

電子メール：so-chiikibousai@city.yokohama.jp

住所：〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 10階

研修開催時の新型コロナウイルス感染症への対策について

研修の開催にあたり、感染対策を行ったうえで実施します。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1 基本的な感染対策の実施

- ・研修会場の席の間隔、受講者同士、講師と受講者との間隔を確保します。
- ・職員及び講師は、検温等健康管理に努め、手洗いをします。
- ・職員及び講師は、マスクを着用します。
- ・会場には手指消毒液を用意します。
- ・会場の机、ドアノブ等の消毒を行います。

2 受講される方へのお願い

- ・受付の際には、検温、手指の消毒をお願いします。
- ・体調不良（発熱、咳等の風邪症状）の方は受講をお控えください。
- ・研修施設内ではマスクの着用をお願いします。
- ・会場内における身体的距離の確保にご協力ください。
- ・受講中に体調不良になった場合、速やかにお申し出ください。
- ・休憩中等の会話は控えめにしてください。

3 その他

感染の状況によって、開催方法の変更または中止の場合があります。

問い合わせ先：横浜市総務局危機管理室地域防災課

担当：時枝、橋本

TEL:045-671-3456 FAX:045-641-1677

令和3年 防災・減災推進研修〈支援編〉のご案内

地震火災や風水害の備えなど地域特性に応じた防災活動について、アドバイザーを派遣して支援する研修です。是非お申込みください。

1 実施方法

- (1) 対象・・・自治会・町内会等
- (2) 日数・・・1地域につき、1日1～3時間程度
- (3) 日時・・・日程については地域の方と調整させていただきます。
- (4) 場所・・・原則、アドバイザーが地域に伺いますが、研修場所の確保をお願いします。

2 研修内容について

以下の①～⑥の中から最大3つまで選択していただき、希望されたプログラムを基に研修内容を調整いたします。

研修プログラム	所要時間
① 地域における被害想定 / 基本的な災害への備え（自助・共助の取組）	60分
② 風水害への備え（マイ・タイムラインの作成支援等）	30分～60分
③ 地震火災への備え（地震火災の危険性、感震ブレーカー設置助成等）	30分～60分
④ マンション防災	30分～60分
⑤ 市民防災センター体験ツアー	60分
⑥ グループワーク（災害時のケーススタディー、地域の危険性の把握等）	60分～90分

3 申し込み要件

- 複数(5人以上)の研修参加者を確保することができる
 - 研修実施場所を確保することができる
- ※市民防災センター体験ツアーを希望する場合、実施場所は横浜市民防災センターとなります。

4 申し込み・お問い合わせ

別紙申請書に必要事項のご記入のうえ、郵送、FAXまたは電子メールにて6月10日(木)まで(必着)に以下の宛先へお申し込みください。

【宛先】総務局地域防災課
郵送：〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 10階
FAX：045-641-1677 TEL：045-671-3456
メール：so-chiikibousai@city.yokohama.jp

5 研修受講の決定

研修受講決定の通知を、申請者あてにお伝えします。また、研修内容について申請者宛に調整させていただくことがありますのでご了承ください。

- ※希望する地域が、多数の場合、来年度以降に派遣をお願いすることがあります。
- ※気象警報の発令等により、再度、研修の日程調整をすることがあります。

6 新型コロナウイルス感染症への対策について ※詳細なコロナ対策は別添のとおり

研修の実施にあたっては、研修施設の消毒、換気、受講者の間隔の確保をお願いします。

また、受講者につきましては、マスクの着用、受付での消毒、検温にご協力をお願いします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては実施日を再調整させていただきます。

総務局地域防災課 行

自治会・町内会等団体名 _____

申請者名 _____

住 所 _____

電 話 _____

防 災 ・ 減 災 推 進 研 修 < 支 援 編 > 申 請 書

令和3年の防災・減災推進研修<支援編>について申請します。

地域の状況		
【住居形態】 <input type="checkbox"/> 戸建て <input type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/> 混在		
【防災活動状況】		
<input type="checkbox"/> 防災活動を実施している ※以下に活動の内容を記載してください (_____)		
<input type="checkbox"/> 実施していない		
【防災組織体制】 <input type="checkbox"/> 構築されている <input type="checkbox"/> 構築されていない		
研修プログラム 希望するものにチェックしてください。(3つまで選択可)		
プログラム	所要時間	✓
① 地域における被害想定 / 基本的な災害への備え (自助・共助の取組)	60分	<input type="checkbox"/>
② 風水害への備え (マイ・タイムラインの作成支援等)	30分～60分	<input type="checkbox"/>
③ 地震火災への備え (地震火災の危険性、感震ブレーカ設置助成 等)	30分～60分	<input type="checkbox"/>
④ マンション防災	30分～60分	<input type="checkbox"/>
⑤ 市民防災センター体験ツアー	60分	<input type="checkbox"/>
⑥ グループワーク (災害時のケーススタディー、地域の防災マップ作成 等)	60分～90分	<input type="checkbox"/>
希望日		
第1希望 (_____) 第2希望 (_____) 第3希望 (_____)		
派遣期間は、令和3年7月1日～令和4年3月31日です。		
※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、派遣日を調整させていただきます。		
希望時間 <input type="checkbox"/> 1時間 <input type="checkbox"/> 2時間 <input type="checkbox"/> 3時間		
実施場所 (_____) ※実施場所の確保をお願いします。		
参加者数 (_____) 人 ※原則5名以上の参加をお願いします。		
自由記入欄 (地域で困っていることなど、自由にご記入下さい。)		

研修の申込みにあたり収集する氏名、電話番号、住所の個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い、適正に管理し、研修内容の調整、決定通知の送付、研修の中止等、事務局から連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

問い合わせ先 総務局地域防災課 (時枝、橋本)

電話:045-671-3456 FAX:045-641-1677

研修開催時の新型コロナウイルス感染症への対策について

研修の開催にあたり、感染対策を行ったうえで実施をお願いいたします。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1 申請者（受講者）へのお願い

- ・会場には手指消毒液と体温計の用意をお願いします。
※研修者が用意することもできます。
- ・研修開始前に会場の机、ドアノブ等の消毒をお願いします。
- ・受付の際には、検温、手指の消毒をお願いします。
- ・研修会場の席の間隔、受講者同士、講師と受講者との間隔を確保してください。
- ・体調不良（発熱、咳等の風邪症状）の方は受講をお控えください。
- ・研修施設内ではマスクの着用をお願いします。
- ・会場内における身体的距離の確保にご協力ください。
- ・受講中に体調不良になった場合、速やかにお申し出ください。
- ・休憩中等の会話は控えめにしてください。

2 その他

- ・職員及び講師は、検温等健康管理に努め、手洗いをします。
- ・職員及び講師は、マスクを着用します。
- ・感染の状況によって、開催方法の変更または中止の場合があります。

問い合わせ先：横浜市総務局危機管理室地域防災課

担当：時枝、橋本

TEL:045-671-3456 FAX:045-641-1677

防災を学べるウェブサイトを開設しました！

集まれなくても大丈夫！

ご家庭で地域で事業所で、

いつでもどこでもしっかり防災を学べます！

新型コロナウイルス感染症の流行によって、防災研修やイベントの延期、中止などにより、自助・共助をはじめとした防災について学んでいただく機会が非常に少なくなっています。こうした状況の中でもしっかりと防災を学んでいただけるように、本市ホームページに防災を学べる動画やクイズ等を掲載した防災学習コンテンツを作成しました。災害への備えを進めるためにぜひご活用ください。

1 開設日
令和3年4月12日

2 ウェブサイト URL
<https://cgi.city.yokohama.lg.jp/somu/chikibousai>

横浜市 防災学習コンテンツ

検索

QRコード



3 ページ構成

「共通」「町の防災組織」「地域防災拠点」「子ども」「企業等」とカテゴリーをわけ、被害想定、備え、共助の重要性、避難所運営、帰宅困難者対策など、それぞれに合った【クイズ】・【動画】・【教材】を用意しています。自分にあったコンテンツを見つけて防災を学ぶことができます。

(1) 共通

地震や風水害への事前の備えや避難行動などを学べます。

(2) 町の防災組織

自治会・町内会等で必要な知識や備え、訓練のやり方などの防災対策を学べます。

(3) 地域防災拠点

避難所の開設や運営方法など、必要な知識についてコロナ禍での対応を含め学べます。

(4) 子ども

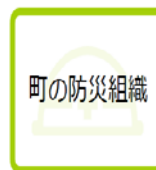
災害の怖さや正しい避難行動をやさしいことばで学べます。

(5) 企業等

帰宅困難者対策や避難確保計画など、企業として必要な防災対策を学べます。

<トップ画面イメージ>

それぞれのカテゴリーを選択すると、クイズ、動画、教材のページに飛びます



4 DVDの配付

学習コンテンツ内の一部動画をまとめたDVDを各自治会・町内会に配布します。地域の防災活動にご活用ください。

各コンテンツの紹介（クイズ、動画、教材）

<クイズ画面イメージ> ○×や選択式のクイズで気軽に防災を学ぶことができます。

Q1 雨がざあざあたくさん降って、町が水でいっぱいになると、どんな危ないことがあるかな？

Q1 横浜市で起こると想定されている元禄型関東地震が起こった際の被害想定として正しいものはどれでしょう。

- 火災による建物焼失棟数：77,700棟
- 建物倒壊による死者数：1,000人
- 帰宅困難者数：5,000人

Q1 火災による建物焼失棟数：77,700棟

火災による建物焼失棟数：77,700棟

強い雨による建物全半壊棟数 137,100棟	大雨による建物焼失棟数 77,700棟	建物倒壊による死者数 1,000人	火災による建物全半壊棟数 7,880棟	火災による建物全半壊棟数 577,000棟	火災による建物全半壊棟数 27,000棟
建物倒壊による死者数 1,000人	火災による死者数 1,550人	帰宅困難者数 443人	火災による死者数 455,000人	火災による死者数 595人	火災による死者数 595人

<動画画面イメージ>

イラストや物語など工夫した構成となっています。

みんな森の子供たちとアウル爺さん
～不思議と勇気の物語～

**家具転倒防止器具・感震ブレーカーを
設置しましょう！！**

感震ブレーカーを設置することにより

<教材面イメージ>

防災を学べるパンフレット等を掲載しています。

しぶん防災ハンドブック

みんな防災ハンドブック

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、台風や大雨の被害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりが家や職場や地域単位で、あらかじめ対策を講じておける防災の準備行動計画のことです。

作成シートと防災の知識を駆使して一人ひとりのマイ・タイムラインを作成しましょう。

作成シートダウンロード

マイ・タイムライン作成シート

問い合わせ先：横浜市総務局危機管理室地域防災課
担当：時枝、橋本
TEL:045-671-3456 FAX: 045-641-1677